

図書館だより

図書館と近代現代文書

国文学研究資料館史料館

教授 丑木 幸男

県立図書館の松江藩郡奉行所文書調査に今年十月初旬、参加したが、江戸時代の史料管理を示す貴重な史料群であつた。その折に書庫のそれ以外の文書群を拝見したところ、貴重な県庁文書が大量にあつた。

昭和31年の『島根県庁所蔵 郷土資料目録』によると、県史編纂関係で収集した民間資料と県庁の行政資料とに大別されるというが、後者には「島根県歴史」などの「府県史料」と、「出雲郡村誌」などの「皇国地誌」の、明治初年に内務省が全国で作成させた史誌編纂資料が、揃っているのは圧巻であった。明治初年の資料260点やそのほか隠岐支庁引揚文書や大正、昭和期の行政文書もみられた。『目録』刊行の目的を、「県内における資料保存の機運の醸成に資せしめたい」「県政の今後一層の発展を図る」ためとしているのも心強い。

数百年前のこととは史料があって分かるが、最近のことは史料がなくて分からぬといふのがおかしなことがある。我々の歴史にとって最大の事件であった太平洋戦争の戦時中や戦後の過程に、史料が廃棄されたために不明の部分が多くたり、昭和三十年代以後の大きく社会が変貌した事情を示す行政文書も少ない。

数百年前の古文書とともに、近代現代の行政文書を保存、整理して利用に供することも、「県政の今後一層の発展を図る」ためにも必要なことである。

しかし、図書館でそれを行うのは困難であろう。公文書館法制定以後、文書館設立が相次ぎ、中国地方でもほとんどの県で設立したが、計画があるという。貴重な古文書や行政文書を数多く持つ島根県でも、一日も早く県立文書館建設が具体化することを期待したい。

敦煌の旅(1)——シルク・ロード

はじめに

中国の古都西安から西域（せいいき・中国人が中国の西方諸国を呼んだ汎称。広義にはインド・アフガニスタン・ペルシャ・シリヤ・エジプトなど。狭義には今の新疆ウイグル自治区）に至るシルク・ロード（絹の道）に足をしるすのは、多年の夢であった。というのも、私が古代出雲文化や日本仏教美術の源流を求めるにしても、せいぜい朝鮮半島どまり。ご本家の中国や西域については、見ずてんの受け売りを述べるだけであった。

そこで、出雲空港から中国へ直行便が出るのを幸い、私は（財）島根総合研究所の一行9人と“NTT友好訪中団”に加わり、念願の西安・敦煌・北京の旅に出かけたという次第だ。

東西交流の申し子

今秋9月下旬、出雲から上海を迂回してもわずか4時間余りの空の旅。碁盤の目のように整然とした西安（唐代は長安）は、紀元前12世紀から2000年間にわたって西周・秦（しん）・

漢・隋・唐などの11王朝が都したところ。いかにも、どっしりとした歴史の重みが感じられる。初めて中国を統一した秦の始皇帝の兵馬俑（よう）、唐の玄宗（げんそう）皇帝が楊貴妃（ようきひ）と愛の日々を送った華清池（かせいち）などにもひかれたが、後回し。シルク・ロードの拠点・敦煌（とんこう）への旅を午後にひかえ、まず大雁塔（だいがんとう）



（朝もやにけぶるシルク・ロード）
——大雁塔から——

読書会用図書

「海 峡」

伊集院静著 新潮社



成人読書会用

古町界隈で知らぬ者のない「高木の家」。父の事業に従事する50人余りの「高木の人々」は、不思議な共同体だった。

少年は、戦後間もない世相の中「高木の家」の人間として成長していく。

『受け月』で直木賞受賞の著者が自らの少年時代をモチーフに描く自伝的長編小説。

新着本のご案内

「えんぴつびな」

長崎源之助著
長谷川智子絵
金の星社



子供読書会用

疎開した町の小学校で出会ったシンペイちゃんといういたずらっ子。でも本当はやさしい男の子だった。

ある日シンペイちゃんは「えんぴつびな」を作ってくれた。でもその夜、空襲が……

子供の日常をとおして描くことで戦争というものが実感として捉えられる絵本です。

★大人の本は15冊。子供の本は20冊ずつ用意しています。お問合せは普及係まで

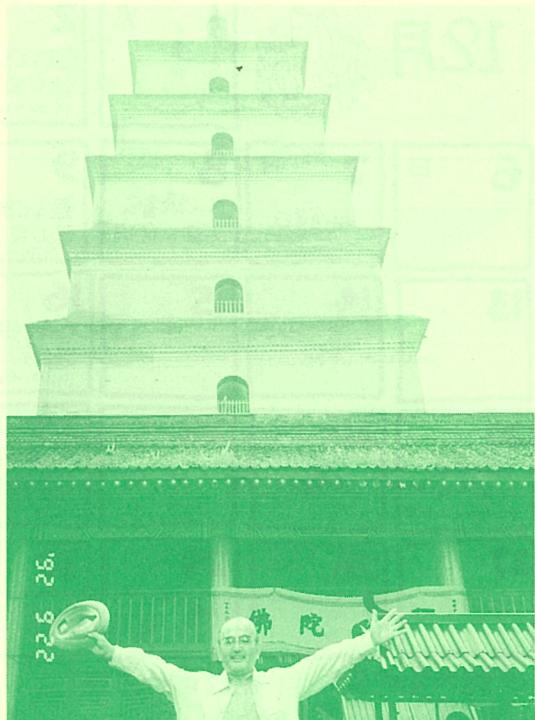
元島根県立図書館長 速水保孝

を先にしたのは正解であった。

玄奘（げんじょう）法師と言えば小説『西遊記』、孫悟空や猪八戒（ちよはっかい）を連れてインドへ求法（ぐほう）の旅をしたというが、実際は初唐に鎖国（さくこく）の禁を破って独り旅。シルクロードを西へ進んで南へ下り、印度で仏教を学ぶ。17年後に敦煌を通って都長安へ持ち帰った梵語（ぼんご）の教典は600余部。それを慈恩寺で翻訳、仏教の興隆を図った唐代切っての名僧だ。その功績に報いるため、当時は5層の大雁塔を寺内に建立、経典類が収納されたという。その写経文がわが国へ伝えられ、日本仏教も花咲くのだから、玄奘法師こそ東西交流の申し子である。大雁塔内で釈迦の仏弟子・羅漢（らかん）の列に加えられているのもうなずけよう。

さて、塔の最上層から西を見ると一本道、それが河西（黄河の西）回廊から敦煌を経てシルク・ロードに至る、と聞いて胸の高鳴りを覚えるのであった。

（以下次号）



（大雁塔を背に）

新刊案内

評伝 柳宗悦

水尾比呂志著 筑摩書房 4,900円

この本は、民芸運動に一生を捧げた柳宗悦の案内書です。

当館には宗悦の著作が47冊あります。内容は、安来出身の河井寛次郎、木喰上人、工芸、宗教など多岐にわたって書かれています。著者は、そうした宗悦の文化的功績を年譜を追つて精しく書き記すとともに、陰に陽に夫宗悦を支えた妻、兼子にも触れています。

利用

- 休館日 毎週月曜日・国民の祝日
毎月末日（月末が日曜日にあたると
きはその前日）
年末年始 12月28日～1月4日
- 貸出し 冊数…5冊以内
期間…15日

白く長い廊下

川田弥一郎著 講談社 1,300円

第38回江戸川乱歩賞受賞作。

著者は現役の外科医で、乱歩賞史上初の医学ミステリーです。東京近郊の総合病院でおきた手術後の患者の不可思議な死。医療事故とみえる巧妙に仕組まれた殺人事件。事故の当事者とされた担当医が、謎の解明に挑みます。

案内

- 開館期間 9時～18時
子ども室は火曜日～土曜日は13時～18時
ただし、小・中学校の週5日制導入に伴い、第二土曜日は午前9時から開きます。
- 島根県立図書館 〒690 松江市内中原町52
TEL (0852)22-5734
FAX (0852)22-5728

行事予定

12月



1 火	2 水 親子ご絵本を読む会 15:00～16:00	3 木	4 金	5 土 古文書を読む会(近世) 14:00～16:00
6 日 休館日	7 月 成人読書会 13:00～15:00	8 親子ご絵本を読む会 15:00～16:00	9 万葉集を読む会 14:00～16:00	10 出雲国風土記を読む会 13:00～15:00
13	14 休館日	15	16 親子ご絵本を読む会 15:00～16:00	17
20 子供の誕生日 10:30～12:00 13:30～15:00	21 休館日	22	23 (天皇誕生日) 休館日	24
27	28 ←	29	30 ↗ 年末休館	31

○館内資料展示…「統計でみる島根県」



1月



1 金	2 土
3 日 4 月 ← 年始休館	5 火 親子ご絵本を読む会 15:00～16:00
6 水 親子ご絵本を読む会 15:00～16:00	7 木
8 出雲国風土記を読む会 13:00～15:00	9 子供読書会 古文書を読む会(近世) 10:00～11:30 14:00～16:00
10	11 休館日
12 成人読書会 13:00～15:00	13 親子ご絵本を読む会 15:00～16:00
14 万葉集を読む会 14:00～16:00	15 (成人の日) 休館日
16 古文書を読む会(中世) 13:30～15:30	17
17	18 休館日
19	20 親子ご絵本を読む会 15:00～16:00
21	22
23	24
25 休館日	26
27 親子ご絵本を読む会 15:00～16:00	28
29	30 休館日

○館内資料展示…「年中行事を知る資料展」

※各種講座は講師の方の都合により変更する場合もあります。

編集発行 島根県立図書館 松江市内中原町52 TEL 0852-22-5725

発行日 平成4年11月20日

FAX 0852-22-5728